

科目名	ビジネス学部(経済・経営・法を含む)・科目4	出席・回答率 (出席・回答者数/登録者数)	45.9%
			(17/37)

設問項目別回答率

【I】

(1)あなたは、この授業にどの程度出席していますか。

ア. 毎回出席している イ. 大体出席している ウ. 半分ぐらい出席している エ. あまり出席していない

ア	76.5%	イ	23.5%	ウ	0.0%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	------	---	------

(2)あなたはこの授業に積極的に取り組んでいますか。

ア. かなり積極的である イ. やや積極的である ウ. やや消極的である エ. かなり消極的である

ア	58.8%	イ	35.3%	ウ	5.9%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	------	---	------

(3)あなたは、この授業に関する自学自習をしていますか。

ア. かなりしている イ. ある程度している ウ. あまりしていない エ. 全くしていない

ア	11.8%	イ	35.3%	ウ	41.2%	エ	11.8%
---	-------	---	-------	---	-------	---	-------

(4)シラバスは授業の目標、内容、評価法などを示していますが、この授業を履修するのに役立ちましたか。

ア. かなり役立った イ. ある程度役立った ウ. あまり役立たなかった エ. 全く役立たなかった オ. 読まなかった

ア	11.8%	イ	58.8%	ウ	23.5%	エ	5.9%	オ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------	---	------

(5)この授業内容のボリューム(分量)は適当ですか。

ア. かなり多い イ. やや多い ウ. 適当である エ. やや少ない オ. かなり少ない

ア	5.9%	イ	41.2%	ウ	52.9%	エ	0.0%	オ	0.0%
---	------	---	-------	---	-------	---	------	---	------

(6)この授業の難易度は適当ですか。

ア. かなり難しい イ. やや難しい ウ. 適当である エ. やや易しい オ. かなり易しい

ア	5.9%	イ	41.2%	ウ	52.9%	エ	0.0%	オ	0.0%
---	------	---	-------	---	-------	---	------	---	------

(7)担当の先生の説明は分かりやすいですか。

ア. かなり分かりやすい イ. やや分かりやすい ウ. やや分かりにくい エ. かなり分かりにくい

ア	17.6%	イ	47.1%	ウ	29.4%	エ	5.9%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(8)テキストやレジュメなど教材はこの授業の理解に役立っていますか。

ア. かなり役立っている イ. ある程度役立っている ウ. あまり役立っていない エ. 全く役立っていない

ア	5.9%	イ	52.9%	ウ	41.2%	エ	0.0%
---	------	---	-------	---	-------	---	------

(9)担当の先生は授業にあたり、毎回どの程度準備していると思われるですか。

ア. かなりよく準備している イ. ある程度準備している ウ. あまり準備していない エ. 全く準備していない

ア	23.5%	イ	58.8%	ウ	17.6%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(10)先生の授業に対する熱意や意欲は感じられますか。

ア. かなり感じられる イ. ある程度感じられる ウ. あまり感じられない エ. 全く感じられない

ア	58.8%	イ	35.3%	ウ	5.9%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	------	---	------

(11)11月の授業内で、「授業改善シート」は実施されましたか。

ア. 実施された イ. 実施されなかった、または、実施時に欠席していた

ア	64.3%	イ	35.7%
---	-------	---	-------

(12)「授業改善シート」の結果を受けて、どの程度授業が改善されましたか。

ア. かなり改善された イ. ある程度改善された ウ. あまり改善されなかった エ. 全く改善されなかった

ア	14.3%	イ	64.3%	ウ	21.4%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(13)この授業に関する受講生の声(意見・質問)に対して、教員から何らかの説明がありましたか。

ア. かなり十分な説明があった イ. ある程度説明があった ウ. あまり説明がなかった エ. 全く説明がなかった

ア	29.4%	イ	58.8%	ウ	11.8%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(14)この授業を受けて、学習意欲は刺激されますか。

ア. かなり刺激される イ. ある程度刺激される ウ. あまり刺激されない エ. 全く刺激されない

ア	5.9%	イ	58.8%	ウ	29.4%	エ	5.9%
---	------	---	-------	---	-------	---	------

(15)この授業の内容は理解出来ますか。

ア. かなりよく理解できる イ. ある程度理解できる ウ. あまり理解できない エ. 全く理解できない

ア	11.8%	イ	70.6%	ウ	17.6%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(16)この授業に満足していますか。

ア. かなり満足している イ. やや満足している ウ. やや不満である エ. かなり不満である

ア	17.6%	イ	52.9%	ウ	29.4%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(17)自分を作り上げる努力をするうえで、この授業は役立ちますか。

ア. かなり役立つ イ. ある程度役立つ ウ. あまり役立たない エ. 全く役立たない

ア	23.5%	イ	64.7%	ウ	11.8%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

(18)あなたはこの授業を他の学生にも薦めたいですか。

ア. ぜひ薦めたい イ. できるだけ薦めたい ウ. あまり薦めたくない エ. 薦めたくない

ア	23.5%	イ	52.9%	ウ	23.5%	エ	0.0%
---	-------	---	-------	---	-------	---	------

【Ⅱ】

[A]この授業を履修した動機は何ですか。当てはまるものを全て選びマークしてください。

- (19)専門性を高めたいから (20)興味・関心を持ったから (21)友達・先輩が取ったから
(22)時間割上の都合から (23)簡単に単位が取れそうだから (24)必修だったから

(19)	11.8%	(20)	5.9%	(21)	5.9%
(22)	0.0%	(23)	0.0%	(24)	58.8%

[B]あなたがこの授業で工夫してもらいたいと思うものを全て選びマークしてください。

- (25)ビデオなど視聴覚教材の活用 (26)power pointなどのIT教材の活用 (27)上手な板書
(28)話題や例示の妥当性 (29)この中にはない (30)満足している

(25)	0.0%	(26)	5.9%	(27)	17.6%
(28)	11.8%	(29)	17.6%	(30)	5.9%

[C]この授業で先生とどのような手段で交流をはかりたいですか。該当するものを全て選びマークしてください。

- (31)教室での対話 (32)教室外での対話 (33)e-mail (34)オフィスアワー
(35)レポートによる感想や意見 (36)この中にはない (37)その他

(31)	17.6%	(32)	0.0%	(33)	0.0%	(34)	0.0%
(35)	5.9%	(36)	23.5%	(37)	0.0%		

①自己評価

設問16「この授業に満足していますか」に対して、「かなり満足している」と「やや満足している」の合計が70.5%に達していることから、基本的には学生の要求に応えられたのではないと思われる。その他の設問に対しても、肯定的評価の(ア)とイ)の合計が大部分過半数であることも上記の総括を裏付けると理解できる。

ただ、設問8の「テキストやレジュメなど教材はこの授業の理解に役立っていますか」に対して、「あまり役立っていない」が41.2%にのぼっていることは深刻に受け止めなければならない。本年度は、テキストを改訂し、基本的に「話し方コミュニケーションの基本」、「スピーチの実践」、「敬語」、「議論の方法」の4部構成としたが、たしかに詰め込み過ぎというくらいは否定できない。次年度はスピーチの実践と敬語の習得を基本的学習目標として設定しなおし、テキストの再改訂ないし補助プリントの作成にとりかかりたい。

②評価に対する教員の思い

自由記述において、「専門科目を早く開講するほうがよい。……ついていけない生徒はそこで切り捨てればよい。」という、本学の導入教育プログラムに対する根本的な疑問が提起されていた。この疑問に対しては、本学の導入教育プログラムの制度設計自体に問題があるのか、あるいは、その運用方法に問題があるのか、の検討にもとづき前向きに対処しなければならない。さらに、学生間における学力格差、ないし学習姿勢格差に対する最善の教育方法は何かという問題も提起しており、能力・姿勢に応じた何らかの形態での個別教育の推進が必要であることはたしかである。

学生諸君に対しては、学習能力は問わないにしても、せめて学習態度・授業態度を改善することをのぞみたい。常習的な意図的な遅刻と無断早退は、他の真面目な学生の学習意欲にマイナスとなり、ひいては自らの成長を妨げていることを自覚してほしい。

③より充実した授業のために…自己評価を踏まえての目標と課題

上述の疑問が提起されているが、この科目は学生の主体的参加を刺激し、アンケート結果も概ね好評であることから、より一層学習目標を明確にして授業内容を改善していきたい。そのさいの第一の問題は、スピーチのやり方について理論的説明に偏っていて、学生のスピーチの実践と授業内容との間に距離があったのではないかと、という反省である。第二の問題は、学習態度の未熟な学生グループに対する学習意欲喚起の方法の模索である。

第一の問題に対しては、スピーチの実践例を数多く紹介し、その優れた点を具体的に理解していくことを促したい。これにより、我流から抜け出したスピーチができる第一歩となることを目指している。第二の問題に対しては、遅刻・早退のさいのこまめな注意と並行して出席点検代わりに授業中に小テストを適宜実施し、システム的にも学習態度の改善を促す手段を講じていきたい。

※①②③に記載された内容については、学生に対しては、科目名・教員名を記載し学内webにて公表します。

学外への公表については、教員名を消し、科目名を(例)「学部・科目1」という表記にして公開します。